






◎このマニュアルは、放課後キッズクラブで実施した「キッズ防災教室」のテキストです。ご家庭の防災教育にお役立ただければ幸いです。

<p>わが家と家族を火事から守るには</p>	<p>こどもと家庭の防災教育マニュアル</p>
<p>火事のとくにすぐやる3つ</p> <p><b>ひ</b> ひなん 避難</p> <p><b>け</b> けす 初期消火</p> <p><b>し</b> しらせる 通報</p> 	<p><b>【ひなん】 避難</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○とくに煙を吸わないように部屋の外に出る。</li> <li>○煙が来たら、床に近いところの空気を吸って脱出。</li> <li>○初期消火も、「炎が目の高さ」になれば避難。</li> <li>○部屋の空気の温度高くなり、煙が危険。爆発的に燃える「フラッシュオーバー」になる危険も。</li> </ul> <p><b>【けす】 初期消火</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○消火器は、だれでもすぐに使える場所に。</li> <li>○まず、「火事だ!」と家族、近所に知らせ、水や消火器で初期消火。「消火器の黄色いピンを抜く→ホースをしっかりと持ち、火に向ける。黒いレバーをにぎる。」練習を。</li> </ul> <p><b>【知らせる】 通報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○近所に「火事だ!」と知らせれば、消防の応援や119番通報してもらえる。</li> <li>○119番、または携帯電話の「緊急SOS機能」(例: iPhoneなら電源ボタンを5回)を練習。</li> <li>○119番通報して、「火事ですか? 救急ですか?」と聞かれたら、「火事です。」「住所はどこですか?」と聞かれたら、住所や目印になる建物を言える練習を。</li> </ul> 

<p>火災から命をまもる三つの知恵</p>	<p>家でも、どの建物でも、火災から命を守るポイント</p>
<p> 火事を生きぬく三つのちえ</p> <p><b>に</b> にほうこう ひなん 二方向避難</p> <p><b>ぼ</b> ぼうか とびら 防火シャッター・扉</p> <p><b>し</b> し 死ぬことがあるけむり</p> 	<p><b>【にほうこうひなん】 二方向避難</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○法律により、多くの建物は、どの場所からも二方向以上に「非常口」。</li> <li>○マンションも、ドア・バルコニー・避難はしごなどあり。</li> <li>○火災の場所や、煙によって、安全な方に避難。</li> </ul>  <p><b>【ぼうかしゃったー・とびら】 防火シャッター・扉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防火シャッター・扉は、近くの「煙センサー」で閉まる。</li> <li>○手で閉めることもでき、煙が来ない「防火区画」になる。</li> <li>○車椅子など階段での垂直避難がむずかしければ、防火シャッター・扉を閉めて、水平避難をすることも。</li> <li>○防火シャッターは、閉まっても、わきにドアがある。</li> <li>○防火扉は火災で閉まっても、押すか、引けば開く。</li> </ul> <p><b>【しぬことがあるけむり】 死ぬことがある煙</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○火災の煙は「毒ガス」(一酸化炭素)。吸えば、意識を失い、死ぬことも。</li> <li>○煙を吸わないで脱出。吸うなら、床に近いところの空気を。</li> <li>○家庭用火災報知器は法律の義務。寝ているときにも煙を感知して知らせてくれる。</li> </ul>